

3 ビハーラ僧養成研修会（仮称）【試行】の概要

宗門総合振興計画〔推進期間：2015（平成27）年度～2024（令和6）年度〕の基本方針Ⅰに「仏教精神に基づく社会への貢献」が掲げられ、宗門が、宗派の枠にとらわれず、また国家や宗教、政治、民族などを問わず、より多くの人びとと協力し、連携を深めた活動を推進し、さまざまな活動の中で仏教の精神や考え方を広く社会に発信して、その価値観に基づく社会を構築していくよう努めることとなった。

そのような中、ビハーラ活動推進委員会において、本計画の推進事項「ビハーラ活動のさらなる展開を図る」について協議を重ね、2017（平成29）年度、医療機関・福祉施設において、医師、看護師、介護士等と協働し、人々の苦悩と悲嘆に寄り添い、臨床を専門とする僧侶の養成をめざした「ビハーラ僧養成研修会（仮称）【試行】」を開催することとなった。初めての取り組みでもあり、広く意見を聴取するとともに実績を積むため、試行という形式になった。（募集要項：次頁掲載）

本研修会は、布教使をはじめ、理学療法士、看護師の資格をもつ僧侶6名が受講し、10月2日～20日まで前期基礎研修を伝道院で行った。宗門校の龍谷大学・鍋島直樹教授、武蔵野大学・小西達也教授（日本臨床宗教師会理事）、宗門が設立した独立型緩和ケア病棟「あそかビハーラ病院」花岡尚樹ビハーラ室長、社会福祉法人至心会・野村康治理事長やキリスト教牧師、病院長、東北大学教授などが講師をつとめ、テーマは、「ホスピス緩和ケア」「高齢者に関する基本的な対応」「宗教間対話」「医療倫理」「日本人の民間信仰」「死生観」など多岐におよんだ。また、12月4日～2月27日まで後期臨床実習をビハーラ総合施設（あそかビハーラ病院・特別養護老人ホーム ビハーラ本願寺）、三菱京都病院、特別養護老人ホーム「常清の里」（大阪）で行い学びを深めた。

修了者6名の内2名が「あそかビハーラ病院」のビハーラ僧、1名が「特別養護老人ホーム・ビハーラ本願寺」に復職、1名が大阪府茨木市の「特別養護老人ホーム・常清の里」の相談員、1名が熊本市の医療機関である「鶴田病院」緩和ケア病棟に看護師、1名が鹿児島市の医療機関である「きいれ浜田クリニック」の相談員として、2018（平成30）年度より勤務を開始した。また、修了者に対して2018（平成30）年度9月及び2月にフォローアップ研修会を開催した。

※ビハーラ僧の呼称について

現在まで、長岡西病院（新潟県長岡市）やあそかビハーラ病院（京都府城陽市）などの医療福祉機関でスタッフの一人として常駐する僧侶を「ビハーラ僧」と呼称してきた。これを承けて本研修会の名称として使用した「ビハーラ僧」とは、ビハーラ総合施設などの医療福祉機関において、ビハーラ活動の理念に基づき、医師、看護師、介護士等と協働して、患者や施設利用者の苦悩と悲嘆に寄り添う臨床を専門とする僧侶のことを指す。

各教区のビハーラ活動と連携して、その活動を進展させる僧侶として期待される。

「ビハーラ僧養成研修会（仮称）【試行】」募集要項

1. 趣 旨

医療機関・福祉施設において、医師、看護師、介護士等と協働し、人々の人生観・信仰を尊重しながら苦悩と悲嘆に寄り添い、臨床を専門とする僧侶の養成をめざした「ビハーラ僧養成研修会（仮称）」を開講予定するにあたり、広く意見を聴取するとともに実績を積むため、試行を実施する。
2. 期 間

【前期基礎研修（座学を中心とした学習）】
2017（平成29）年10月2日（月）～10月20日（金）〔14日間〕
※土曜・日曜・祝日は休講

【後期臨床実習（実習を中心とした学習）】
2017（平成29）年12月4日（月）～2018（平成30）年2月27日（火）〔54日間〕
※土曜・日曜・祝日・年末年始は休講
3. 場 所

【前期基礎研修】

 - 伝道院
 - ビハーラ総合施設
 - ・独立型緩和ケア病棟 あそかビハーラ病院
 - ・特別養護老人ホーム ビハーラ本願寺

【後期臨床実習】

 - ビハーラ総合施設
 - 三菱京都病院（住所：京都府京都市西京区桂御所町1番地）
 - 特別養護老人ホーム常清の里（住所：大阪府茨木市清水一丁目28番22号）等
4. 宿泊場所

【前期基礎研修】学林寮（伝道院隣接）

【後期臨床実習】各自手配または宗派指定の宿泊所
5. 募集対象

2017（平成29）年4月1日現在、20歳以上で浄土真宗本願寺派の僧侶
※前期・後期受講可能な者に限る
※ケア実践に必要な対人関係能力を有し、研修会終了後、医療機関・福祉施設で勤務する意欲のある方
6. 受講料

100,000円（実習費・実習先への交通費・保険代含む）

 - （1）期間中の食費・寝具費・教材費等は自己負担
 - （2）教材費が発生した場合は、その都度徴収
 - （3）後期、宗派指定の宿泊所を申し込む場合、別途100,000円の宿泊料
7. 募集人数

5名程度（書類・面接において選考の上、受講者を決定）

以 上

前期基礎研修

〈講義（時間数）〉

志を語り合う(1.5)	ビハーラ概論(1.5)	仏教学(3)
真宗教義(3)	日本人の民間信仰(3)	宗教間対話(3)
宗教儀礼や習俗に関する事項(1.5)	死生学(1.5)	死生観を語り合う(1.5)
人の心に聴くとは(3)	傾聴活動について(3)	臨床宗教師の倫理綱領(3)
公共空間における僧侶の役割(3)	病院における僧侶・医師の役割(1.5)	医療現場におけるビハーラ僧の役割(6)
病院・高齢者施設における臨床心理士の役割(3)	医療倫理・生命倫理(3)	ホスピス緩和ケア(4.5)
在宅ホスピス(1.5)	緩和ケアチームにおける僧侶の役割(3)	スピリチュアルケアと宗教的ケア(3)
悲歎のケア(3)	高齢者に関する基本的な対応(6)	地域包括ケアシステム(3)
生活支援技術(3)		

後期臨床実習要綱

1. 目的

医療機関・福祉施設など公共空間においてビハーラ僧として実践できる能力を習得する。

2. 目標

- (1) 患者・家族の抱える苦悩を知り、悲しみをともに悲しみ、喜びをともに喜び、全人的苦痛を和らげ、その人らしく最後まで生きられるように援助する。
- (2) 医療・介護の認識を深め、スタッフと連携し、チームの一員として活動する力量を高める。
- (3) み教えをわが身にいただき、自信教人信の心を大切に自身宗教性を深める。
- (4) 宗教・宗派の違いを大切に、自身の宗教を押し付けず、相手の宗教性を大切に寛容性を身につける。

3. 実習方法と概要

施設担当者等の指導のもとに、支援対象者への理解を深め、援助のあり方を理解し支援方法について学ぶ。また自らの実践内容について評価考察する。

○実習場所：あそかビハーラ病院・ビハーラ本願寺・三菱京都病院・常清の里・その他

4. 実習内容・プログラム

- | | | |
|---------------|-----------|----------------------|
| (1) オリエンテーション | (2) 初期研修 | (3) 高齢者のケア |
| (4) スタッフとの連携 | (5) 情報記録 | (6) スピリチュアルケア |
| (7) 宗教的ケア | (8) 悲歎のケア | (9) 医療的及び福祉的認識に関する事項 |

※実習記録を提出し、振り返りを行う。また、適宜、会話記録を提出し会話記録検討会を行う。

5. その他

グループワーク、会話記録検討、宗教間対話（天理教）等